茅野市社会福祉協議会広報紙 ―――― ふみだそう、福祉でまちづくり ――――

やらざあ

Vol.161
2024年2月号

茅野市社協ボランティアまちづくりセンター

お互いの活動、よいところを知ろう！
さらに活動の輪を広げよう！

★であう つながる 何かうまれる交流会

～ボランティア・市民活動交流会～

11月24日（金）に「であう つながる 何かうまれる」をテーマに、ボランティア・市民活動交流会が行われました。ボランティアまちづくりセンターとして、初めて実施した交流会。ゆいわーく茅野と共催で行いました。身近な地区や行政区で活動するみなさん、広く市内で活動するみなさん、これから何か始めてみたい方など35名の参加がありました。

はじめに、日本福祉大学学長で、茅野市社協アドバイザーの原田正樹先生から「ボランティアする側、される側に分かれるのではなく、さまざまな人が役割を持つこと」「たすけられ上手たすけ上手になること」の大切さについてお話いただきました。参加者からは、「とてもわかりやすかった。もっと聞きたかった」と好評でした。

その後は、グループに分かれて、日頃の活動で感じていることや今後やってみたい活動について意見交換をしました。

これからもいろいろな方、団体と交流してみたい

和気あいあいと話ができて楽しかった

みんな同じ悩みをもっているんだね

これから先、もっと枝葉をのばしていく『であいの木』

今回の交流会でうまれた『であいの木』

みなさんの思いや考えを『葉っぱ』に書いてもらったところ…たくさんの『葉っぱ』が集まり、さびしかった木がとてもにぎやかになりました。

ただ今、ひと・まちプラザ１階に展示中です。参加者が書いた『得意なこと』『こんなことできる方を探しています』など、仲間探しや課題解決のヒントにぜひご覧ください！

シリーズ 社協が取り組む福祉教育

がっこう×ふくし

長峰中学校　自分にできる配慮や思いやりにつながる行動を学ぶ福祉教育

長峰中学校では、２学年の技術・家庭科の授業で「家族と家庭生活」を学びます。今回は、家庭や地域の中で高齢者との関わりについて学習し、高齢者に対する理解を深めました。

《「年をとるってどんなこと」茅野市社協で作成したDVDを鑑賞》

- 80歳を過ぎても、いろんな仕事をしているのは凄いと思ったし、手伝ってあげたいと思った
- 元気でいるけど記憶がだんだん曖昧になってきてしまうことがあっても、怒ったりせず、手伝って、理解することが大切
- 年をとっても悲しいことだけじゃないと分かった
- お年寄りとたくさん話をしたりして、伝統を受け継いでいきたいと思った

《高齢者疑似体験》

- 歩くだけでも足は重いし、膝の曲げ伸ばしが難しかった
- 体の重心が前になっているから歩くと体が左右にふらふらした
- 視界がぼやけていて、とても見づらかった。字を書くのが大変だった
- 手が動きにくくて豆を掴み移動することができなかった

《高齢者とよりよい関わりをするために》

- お互いに助け合うことで安全に暮らせる
- 若い人たちが高齢者を助けたり、サポートすることが大切だと分かった
- いろんなことができなくても責めないようにしたい
- 高齢者の方は不自由なことが多いことが分かったので、困っていたら手を貸してあげられるといいなと思った

担当の先生に聞いてみました！

高齢者疑似体験などを実施しようと思ったのは？

高齢者との関わりにおいて思いやりにつながる行動を学ぶためには、人が高齢になったときの身体能力や気持ちの変化を学べる授業を行いたいと考えたからです。

「福祉」のイメージとは

- 茅野市社協で作成されたDVDの中の言葉、「ふだんのくらしのしあわせ」がまさにその通りだと思いました。

「福祉」で学んでほしいこと

- 「ふだんのくらしのしあわせ」です。ちょっとした気遣いと距離感でみんながいい気分で過ごせること、みんなで支え合える世の中を作っておくことが大切であると学んでほしいです。

生徒にどんな人になってほしいですか

- 自分に無理のない範囲で、ちょっとした気遣いができる人になってほしいです。

高齢者疑似体験とは…

体におもりやサポーターをつけることにより、高齢者の身体状況を体験できるものです。高齢化による身体の老化現象を疑似体験することにより、身体的不自由さや高齢者の心情を理解し、高齢者への思いやりの心を育てます。茅野市社協では、高齢者疑似体験セットの貸出を行なっています。

２学年が行う技術・家庭科の授業で、福祉教育の依頼を受けました。福祉を特別なものとせず、様々な単元の中で「ふだんのくらしのしあわせ」について考えることが、福祉の広がりにつながります。

●福祉教育についてのご相談は
茅野市社協まで

第60回 茅野市社会福祉大会を開催しました

令和5年11月25日　マリオローヤル会館

区・自治会、民生・児童委員、地区社会福祉協議会、ボランティア団体の関係者、一般市民、社協の役職員の約100名に参加をいただきました。

～第1部～

表彰式

社会福祉やボランティア活動への貢献、社協の事業への協力、高額寄附をいただいた個人や団体の表彰

※表彰者・表彰団体は社協HPに掲載しております。

地区社会福祉協議会活動の報告

幅広い世代を対象に趣向を凝らした事業を実施している中大塩地区社会福祉協議会の活動の紹介

～第2部～

シンポジウム（持続可能な地域福祉の推進を考える）

- **進　行**
  原田正樹さん　日本福祉大学学長（社協アドバイザー）
- **パネラー**
  田子直美さん　（一社）ちの観光まちづくり推進機構
  土地の人とつくる ココだけの体験「ちの旅」をプロデュース
  福島太晴さん　（株）IKI & IKI取締役
  茅野駅前を中心に古着店、就活カフェなどをプロデュース
  両角達平さん　日本福祉大学講師（北山地区出身）
  中高らんどチノチノでの活動の経験から、若者の社会参画について研究

シンポジウムを通して、一見福祉とは無関係な活動であっても、地域福祉の推進につながっているという発想の転換を図ることや、研修者目線での茅野市の福祉と福祉の先進であるスウェーデンの福祉の共通点を知ることで、持続可能な地域福祉の推進について学びました。

ご協力ありがとうございました

【支援米合計】 1,201kg（R5.12.1現在）

2団体、27名の方々にご寄付いただきました。
お預かりしたお米は、市内の生活でお困りの世帯や子ども食堂等を運営する支援団体などへ配布させていただきます。
なお、社会福祉協議会では年間を通じて、フードドライブの活動を行っています。詳細はお問い合わせください。

ありがとうございます。大切に使います。

ひとりで悩まず まず相談

結婚相談（予約制）

※相談希望日の２営業日前までに予約が必要です

結婚を望まれる方の相談
毎月第１・３土曜日　午後１時～午後４時
毎月第２・４金曜日　午後６時30分～午後８時30分
相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

※前日の午後４時までに予約が必要です

身近な法律に関する相談
毎月第２水曜日　午後３時～午後５時
相談員：司法書士

相談会場は
社協相談室（茅野市ひと・まちプラザ２階）になります。
☎（0266）73－4431

上記以外の様々なお困りごとも社協にご相談ください。

ご寄附ありがとうございました

令和５年10月１日～令和５年11月30日まで

【寄附金】
八ヶ岳総合博物館機織りボランティアグループねじばな様　28,900円
茅野市ソフトボール協会様　63,600円
茅野商工会議所様　50,000円
八十二銀行こまくさ会様　35,000円
上田繁様　4,405円

【遺志金】
牛山　茂様　100,000円

【フードドライブ】
蓼科岳心会様　お米・お菓子・インスタントラーメン等
野村ユニソングループ様　お菓子・インスタント食品・缶詰等235点
匿名　食料品 ／ お米・インスタント食品・生活雑貨等 ／ 佃煮・お茶等 ／ レトルト食品・缶詰カップ麺等 ／ レトルト食品・缶詰カップ麺等 ／ 飴・ガム・チョコレート等5.2kg ／ お米5kg

みなさんからいただいたご寄附は、社協運営事業、ボランティア活動の支援等にも使われています。
※この他にも匿名で、多くのご寄附をいただいております。

【法人会員】　たんぽぽ歯科クリニック
（一社）総合医療チームJIN

社協広報紙 やらざあ Vol.161
2024年２月号
社協HP
発行／社会福祉法人　茅野市社会福祉協議会
編集／やらざあ編集委員会
〒391-0002
茅野市塚原２－５－45　茅野市ひと・まちプラザ２階
TEL（0266）73－4431　FAX（0266）73－8030

読者の声

- ８年前に神奈川県から移住してきた者です。神奈川県よりもお年寄りが元気に感じます。やはり自然も多く福祉サービスも行き届いているからだと思いました。（豊平　男性）
- 虐待やいじめ、パワハラなど嫌なニュースが多いですが皆が仲良く安心して暮らせるようになれば良い社会になって欲しいです。（宮川　70代女性）
- いつも拝見しております。福祉について少し知識が身についております。（ちの　男性）
- ボランティア活動に参加したいと思っていましたがどこで募集情報などが得られるのか分かりませんでした。そのような情報が沢山掲載されていると嬉しいです。（諏訪市沖田　20代女性）
- いつも拝見しています。子供から人生の先輩そしていろいろな障害のある方、みんな理解して生活していきたいですね。優しさが伝わってきます。（泉野　40代女性）
- 時々拝見しておりますが読みやすい紙面だと思います。これからも楽しみに読ませていただきます。ボランティアの情報が出ていたりすると自分にできることがないか気にしてチェックしてます。（本町　30代男性）
- いつも拝見しております。その時の皆様の活動の一端を知ることができて自分の刺激にもなります。（横内　50代女性）

今回のクイズ　何の略でしょう？

市内４か所の保健福祉サービスセンターに配置されているCSW。CSWは何の略でしょうか？

① チャレンジスーパーウーマン
② 茅野市社協ウーマン
③ コミュニティソーシャルワーカー
④ コールサービスワーカー

応募要領
クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあの感想、つぶやきなど一言添えて社協（やらざあ編集委員会）までお送り下さい。ハガキや封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で３名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り　令和６年２月９日（金）

前回のクイズの答え　鏡もち

当選者
森山かのんさん（宮川）　伊東　早苗さん（泉野）
岩波　典子さん（泉野）　佐藤　和夫さん（中大塩）
藤原　冴香さん（諏訪市）

当選された方には図書カードをお送りいたします。
ご応募ありがとうございました。

社協広報紙 やらざあ の発行にはみなさんの社協会費と共同募金が使われています。